「故障かな?」と思ったら(不調診断)

〈現象〉・設置面が水平であるのにガタガタする。

点検する箇所	処置のしかた
踏台の支柱が曲がっていませんか。 特に、下部に曲がりやねじれはありませんか。	曲がっている場合は、使わないで廃棄してく ださい。
滑り止めキャップ (支柱端具) が外れたり、す り減ったりしていませんか。	外れたり、すり減ったりしている場合は、使わないでください。(弊社までご相談ください。)

〈現象〉●踏台がスムーズに開閉できない。

点検する箇所	処置のしかた
ヒンジ(回転軸)部のゆるみや、大きなガタツ キがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
開き止め金具 (開き止め装置) の変形や取り 付け部のゆるみ、ガタツキがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
ヒンジ (回転金具) や開き止め金具 (開き止め装置) がサビ付いていませんか。	サビ付いている場合は、回転部に注油してください。 機能がそこなわれるような、いちじるしいサビ付きがある場合は、使わないで廃棄してください。

⚠警告



製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。一度変形した本体や金具は、いちじるしく強度が落ちており、手直ししても本体や金具の破損が起こり、転倒や転落による人身事故の原因になります。

□ アルインコ株式会社

〒569-8510 大阪府高槻市三島江1-1-1

お客様相談室 0120-302-669

10:00~16:00 ただし12:00~13:00及び土・日・祝を除く

※この取扱説明書は、軽金属製品協会が企画・制作したものです。無断転用を禁じます。



踏台

取扱説明書



このたびは本製品を、お買い上げいただきまして ありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。

で使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読み

いただき、事故が起こらないよう、内容にしたがっ

て正しくお使いください。

また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐ に取り出せる所へ**大切に保存**してください。



- ●踏台は、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときは、 踏台の安定した状態を確認してください。
- ●踏台は、昇降面の左右方向に転倒しやすいので、十分注意してお使いください。
- ●この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

表示マークについて	7
各部のなまえ	2
安全のために、必ず守っていただきたいこと	3
ご使用前の点検	9
沓台の使い方	10
1.設置場所について	10
2.開閉のしかた	10
3.昇りかた・降りかた・作業のしかた	11
使用後のお手入れと保管のしかた	12
1.お手入れのしかた	12
2.保管のしかた	
「故障かな?」と思ったら(不調診断)	12

2018032-FS

表示マークについて

⚠危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や 重大な事故が生じる危険が極めて大きいこと を示します。

⚠警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険があることを示します。

企注意

記載されている内容を守らなければ、けがや 製品が破損する恐れがあることを示します。

※破損したままで使用しますと、転倒や転落による傷害事故の原因になります。



このマークは、禁止(してはいけないこと)を示します。



このマークは、強制(必ずすること)を示します。

<絵表示について>

警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベルの中で絵表示を使用しています。 絵表示には下記の意味があります。



感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると感電して危険であることを示します。

*

可動部や回転部で 手をはさまないよう注意

踏台を開閉するときに、可動部や回転部など で手をはさむ恐れがあることを示します。

X

天板の上で爪先立ち すること禁止

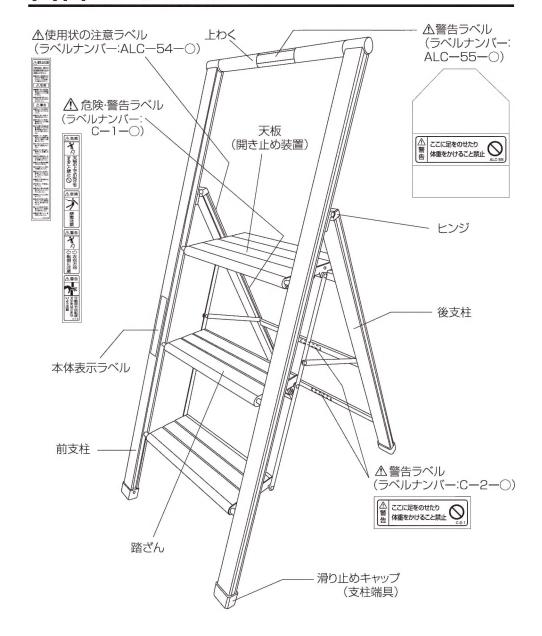
天板の上で爪先立ちすると、身体のバランス をくずして、転倒する危険があることを示します。

*

左右方向転倒に注意

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがある ことを示します。

各部のなまえ



※1.ラベルを取り寄せるときは、ラベルナンバーをご連絡ください。2.ラベルナンバーは、ラベルの右下に記載されています。3.ラベルナンバーの〇は改訂ナンバーです。

1

安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らない と、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる 恐れがあります。

1. 使用条件について

↑警告 踏台としての用途以外の使 いかたをしないでください。

この製品は、高い所で作業するための足場 として作られた「踏台」です。使いかたを誤っ たり、用途以外の使いかたをしますと、転倒や 転落による重大な事故の恐れがあります。

△警告 この製品は、本体表示ラベル での最大使用質量の範囲内

で使用してくだい。

体重と荷物の合計質量が、最大使用質量を 超えるときは、使用しないでください。 また、荷物はバランスが保てる程度の大き さや重さにしてください。

⚠警告 踏台を加工や改造しないでく ださい。

重大な事故を起こす恐れがあります。

▲警告 お子様や取扱説明書・警告ラ ベルの内容が理解できない 人には、使わせないでください。

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、 安全に使用する上で特に重要なことが書か れていますので、内容が理解できない人が 使うと、重大な事故につながる恐れがあり ます。

↑注意 使用に適した服装で使ってく ださい。



ロングスカート・エプロン・マフラーなど、昇 り降りや作業中に、製品に引っ掛かったり、す そを踏みつける恐れのある服装で使用しな いでください。



⚠注意 貼りつけてあるラベルが無く なったり、読めなくなった製 品は使わないでください。

必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せ、正 しい位置に貼り、内容を理解してから使って ください。

※ラベルを取り寄せるときは、ラベルのナ ンバー(2ページを参照)をご連絡くださ U)

△注意 スリッパやナイロン製の靴下 など、滑りやすい物は脱いで ください。

滑りやすい物をはいていますと、足を滑ら せて転倒や転落の恐れがあります。



▲注意 貼りつけてあるラベルが無く なったり、読めなくなった製 品は使わないでください。

必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せ、正 しい位置に貼り、内容を理解してから使って ください。

※ラベルを取り寄せるときは、ラベルのナ ンバー(2ページを参照)をご連絡ください。



⚠注意 この製品を人に貸すときは、 取扱説明書も共に貸し出して ください。

取扱説明書には、安全に使用する上で特に 重要なことが書かれていますので、よくご 理解のうえ使うように指導してください。

2.ご使用になる前に



↑ 警告 使う前には、必ず「ご使用前 の点検(9ページを参照)」を 行い、異常のないことを確認 してください。

異常のあるときは、絶対に使わないでくだい。 重大な事故につながる恐れがあります。



変形した踏台を使わないでく ださい。

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ 材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下し ます。したがって、変形した製品を修理して 使いますと、容易に折れたり曲がったりして、 重大な事故の原因になります。

3.運ぶときは

↑注意 持ち運ぶときは、引きずったり、 投げたり、乱暴に扱わないで ください。

乱暴に扱うと、変形やへこみ・破損の原因に なります。

4.設置する場所について



▲ 危険 設置するときや持ち運ぶとき は、配置線や電源コードなど に引っ掛けないように注意し てください。

この製品は電気を通しますので、感電によ る重大な事故につながる危険があります。



⚠警告 踏台が滑りやすい場所には、 設置しないでくだい。

設置場所が下記の状態では、転倒や転落の 恐れがあります。

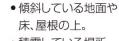
- 滑りやすいビニール製の床・タイル・鉄板 Or Fa
- 濡れている場所。
- 積雪や凍結している場所。
- 砂・ごみ・ほごり・落葉などで滑りやすい場
- その他、滑りやすい場所。



踏台が安定しない場所には、 設置しないでください。

設置場所が下記の状態では、踏台が傾いて 転倒や転落の恐れがあります。

- やわらかい床(じゅうたんなど)や地面。
- 段差があったり、凹凸があって安定しない 場所。
- 踏台がガタツク場所。



い場所。



雨の中や風の強い場所には、 設置しないでください。

濡れた踏ざんで滑ったり、強い風を受けて 身体のバランスをくずして、転倒や転落の 恐れがあります。

⚠警告 足元や周囲がはっきり見えな い暗がりには、設置しないで ください。

足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付 かないことが原因で、転倒や転落の恐れが あります。

⚠警告 人の出入口やドアの前には、 設置しないでください。

出入りする人や開けたドアで、踏台が倒さ れて転倒や転落の恐れがあります。



⚠注意 周囲に危険なものがある場 所や、頭上に障害物のある場 所には設置しないでください。

転倒や転落の恐れがあります。



⚠注意

同じ場所に設置されますと、床材等の 材質によっては支柱端具の接地部分 に色移りする場合がありますので注意 してください。

5. 開閉するとき

⚠注意 踏台を開閉するときに、可動 部や回転部などで、手をはさ まないように注意してください。

けがをする恐れがあります。





6.設置するとき

⚠警告 踏台を高くするために、踏台 にパイプや木などをつないだ り、台や箱の上に乗せたりし ないでください。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動などして、 転倒や転落の恐れがあります。





踏台を折りたたんだまま、建 物に立て掛けたり、水平にし て使わないでください。

不安定な使用のため、バランスをくずして 転倒や転落の恐れがあります。



7.昇り降りや作業するとき

⚠危険 天板の端に乗ったり、爪先立 ちや片足で立たないでくださ

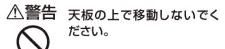
バランスをくずして、転倒 や転落の危険があります。 天板に乗るときは、身体 が天板の中央になる ように乗ってください。





踏台から身体を乗り出さない でください。

身体を乗り出すとバランスを くずして、転倒や転落の恐れ があります。



移動するとバランスをくずして、転倒や転 落の恐れがあります。

⚠警告 使用中、踏台の上で壁や物を 無理に押したり、引いたりし ないでください。

無理に押したり、 引いたりすると、 反動で踏台が不 安定になり、転 倒や転落の恐れ があります。



⚠警告 同時に2人以上乗らないでく ださい。



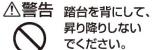
踏台が不安定にな り、転倒や転落の 恐れがあります。



⚠警告 身体の安定が得られないよう な荷物を持って、昇り降りし ないでください。

バランスをくずして、 転倒や転落の恐れ があります。

そのような荷物が あるときは、補助者 が荷物を手渡して ください。



昇り降りしない でください。

身体が不安定となり、転倒 や転落の恐れがあります。



△警告 二つの踏台の間に板をかけて 足場などに使わないでください

踏ざんなどが破損 したり、踏台が不安 定になって転倒や 転落の恐れがあり ます。

⚠警告 上わくへ寄り掛かったり、片 足を乗せて作業しないでくだ さい。

身体のバランスを くずして、転倒や転 落の恐れがあります。 上わくは、作業者の 身体を安定させる ものです。

▲注意 踏台は慎重に昇り降りし、飛 び乗りや飛び降りは、しない でください。

傷害事故の恐れがあります。昇り降りは、最 段下の踏ざんまで使って慎重に行ってくだ さい。

ご使用前の点検

踏台をお使いになる前には、下記の点検を 行い、異常のないことを確認してください。 また、異常に対して処置のできるものは、正 しい処置をした後に使用してください。

1.目で見て、下記の点検をしてくだ さい。

- 天板や踏ざんにグリース・油・泥・雪・水・ ペンキなど、滑りやすいものが付いてい ないか確認し、付いている場合はきれい に拭き取ってください。 (12ページ参照)
- 2 支柱に曲がり・ねじれ・へこみがありませ んか。ある場合は、 絶対に使わない で廃棄してくだ さい。 曲がり

❸ 踏ざんに曲がりやへこみがありませんか。



- 4 各部の接合部に割れやいちじるしい腐食 がありませんか。また、取り付け部品の破 損・脱落・変形・摩耗・いちじるしい腐食が ありませんか。ある場合は、絶対に使わ ないで廃棄してください。
- **⑤**リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け 落ちがありませんか。ある場合は、絶対に 使わないで廃棄してください。

⑤滑り止めキャップ(支柱端具)が外れたり、 すり減ったりしていませんか。外れたり、 すり減ったり、している場合は、絶対に使 わないでください。必ず弊社までご相談 いただき、新しい滑り止めキャップ(支柱 端具)と交換してください。

2.下記の箇所を触って点検をしてく ださい。

● 天板および各段の踏ざんをねじってみて、 ガタツキがない か点検してくださ い。ガタツキがあ る場合は、絶対に 使わないで廃棄 してください。



3. 支柱を開閉して、下記の点検を してください。

閉できないときは、左右のヒンジに泥やセメ ント・ごみの噛み込 みがないか点検 し、あれば取り除 いてください。

- 2 開き止め装置が確実にロックするか点検し てください。確実にロックできない場合は、 絶対使わないで廃棄してください。
- 3 左右のヒンジのゆるみやガタツキがありま せんか。ガタツキがある場合は、ヒンジのゆ るみや外れが考えられますので、絶対使わ ないで廃棄してください。

踏台の使いかた

1. 設置場所について

- 平坦で安定した場所、滑りにくい場所、ま た踏台が埋もれない場所を選んで設置 してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受け ない場所に設置してください。
- 踏台の周囲に危険な物がなく、バランス の良い作業姿勢で使える位置に設置し てください。
- 設置後は、踏台にガタツキがないか確認し、 ある場合は、踏台の位置を移動してガタ ツキなどを取り除いてください。



- ●平坦で安定した場所
- ●滑りにくい場所
- 踏台が埋もれない場所
- 雨や水のかからない場所

2. 開閉のしかた

⚠警告



開閉は、慎重にゆっくり行ってく ださい。乱暴にしますと、可動 部や回転部などで手をはさんだり、 変形や破損の原因になります。

ように持ち、上わく側の支柱を垂直に立 てて、後支柱を開いてください。



- 2 踏台を開くと、天板を上から押さえ水平 にして、天板(開き止め装置)を後支柱の 受材に確実に掛けてください。
- ❸ 踏台を閉じるときは、天板(開き止め装 置)の後側をあげて、ゆっくり折りたたん でください。

9 10

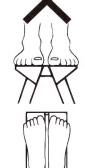
3.昇りかた・降りかた・ 作業のしかた

- 昇る前に、必ず開き止め装置が確実にロックされていることを確認してください。
- 室内では素足、屋外では運動靴など滑り にくいはき物をはいてください。
- 身体の前面を踏台の昇降面に向けて、慎重に昇り降りしてください。
- 降りるときは、飛び降りずに1段ずつ踏ざんに足を掛け、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。
- 天板の上で作業するときは、身体が踏台から乗り出さないようにしてください。
- 天板に乗るときは、身体が天板の中央に くる位置に乗ってください。

正しい使いかた







悪い使いかた

- 踏ざんに乗るときは、図のように足を掛けてください。
- 踏台を移動するときは、踏台から降りて 移動してください。













使用後のお手入れと保管のしかた

1. お手入れのしかた

踏台にとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

<掃除のしかた>

- ●汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってください。
- ② 汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、 乾いた布で拭いてください。
- ❸油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、 きれいに拭き取ってください。

企注意

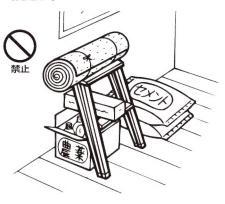
クリーナーや洗剤を付けたままにしていま すと腐食の原因になります。

2. 保管のしかた

- ●雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。雨や直射日光が当ると、各部の腐食や劣化により、強度低下の原因になります。
- ②本製品が濡れてるときは、十分に乾燥させてから保管してください。

⚠ 注意

- 同じ場所に保管されますと、床材等の材質によっては支柱端具の接地部分に色移りする場合がありますので注意してください。
- 保管中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。
- 農薬やセメント・石灰の近くに本製品を 置きますと、化学反応を起こして腐食の 原因になりますので、絶対に置かないで ください。



「故障かな?」と思ったら(不調診断)

〈現象〉 • 使ったときに、グラグラする。

点検する箇所	処置のしかた
支柱と踏ざんの接合部に、ゆるみやガタツキ がありませんか。	ある場合は使わないで廃棄してください。
支柱とヒンジの接合部にゆがみやガタツキ がありませんか?	ある場合は使わないで廃棄してください。

11